【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【公開番号】特開2003-232872(P2003-232872A)
【公開日】平成15年8月22日(2003.8.22)
【出願番号】特願2002-31636(P2002-31636)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０４Ｃ　3/14
　Ｇ０４Ｃ　3/00
【ＦＩ】
　Ｇ０４Ｃ　3/14　　Ｒ
　Ｇ０４Ｃ　3/00　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月6日(2004.12.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　現在時刻を計測する機能と時刻計測以外の機能を有し、前記機能のうち1つを選択する選択手段と、前記選択手段で選択された機能を表示する指針手段と、警報を発する音響手段とを備えた電子時計において、前記音響手段は前記選択手段で選択された機能の動作信号に同期して警報を発すると共に、前記選択手段で選択された表示されている前記時刻計測以外の機能が停止した場合でも、表示上の前記指針手段を停止させ、前記音響手段のアラーム音の同期を取るための動作は継続させることを特徴とする電子時計。
【請求項２】
　前記選択手段で選択された時刻計測以外の機能は一定期間で動作を停止する機能であることを特徴とする請求項１記載の電子時計。
【請求項３】
　前記音響手段が警報を発する期間中に、前記選択手段で選択された前記時刻計測以外の機能の前記一定期間が経過した場合には、前記指針手段の指針の動作を停止し，前記音響手段のアラーム音の警報発生が終了後に前記音響手段のアラーム音の同期を取るための動作を停止することを特徴とする請求項１又は請求項２記載の電子時計。
【請求項４】
　前記時刻計測以外の機能はタイマ機能又はストップウォッチ機能であることを特徴とする請求項１乃至請求項３の何れかに記載の電子時計。
【請求項５】
　前記指針手段を駆動するタイミングと前記音響手段が警報を発するタイミングを一致させないことを特徴とする請求項１乃至請求項４の何れかに記載の電子時計。